

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 2月 15日

事業所名 ハッピーテラス太田教室

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	スペースを広く使うことができるよう、設備の設置を工夫している。		
	2 職員の配置数は適切であるか	5	0	0	個別、リモートも対応できる人数を揃えている。		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	2	段差がある部分は声掛けを行っている。	部屋間のドアの部分に段差があり、修正が難しい。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	朝礼や、提供時間終了後などに、職員間にて情報共有を行っている。	経験年数の長い職員が少なく、外部研修等への参加を積極的に行う。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	年に1回以上保護者アンケートを実施している。	まだ経験したことがない。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	ホームページに掲載している。		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	3		第三者委員会を設置していない。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2	0	施設内研修を含め、外部の研修には自主的に取り組めるよう配慮している。	施設外見学へまだ参加したことがない職員が多い。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	記録を作成している。		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	5	0		経験の浅い者が多く、ツールの活用経験がまだない。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	職員間で案を出し合いながら行っている。		
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	職員間で情報共有をすることで、同じ内容にならないようにしている。		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	各週でテーマを決め、実施している。		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	集団活動を中心に行っているが、状況や要望により、個別支援もしている。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	0	朝礼やトレーニング前に内容の共有や役割分担を行っている。		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	2	3	0	記録を毎回返し、翌日の朝礼等で共有している。		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	その日の支援内容や反応を個人毎に記録に残している。		
	18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	2	0	モニタリング結果を職員間で情報共有している。	担当者が行っているため、わからない指導員がいる。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	1	0	伝統行事や地域資源をイベントで活用している。		
	関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	児童館が対応している。	
		21 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	4	0		送迎を行っていないため、学校との情報共有の機会が少ない。
		22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	1		該当がない。
		23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	1	3		経験がない。
		24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	2	2		経験がない。
		25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	4	1		受けていない、受動的になっている。
		26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	5		保護者の要望を聞いてから考慮する。人によっては通っていることを知られたくない生徒や保護者もいる。
		27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	2	案内がある場合には参加している。	経験が浅く、まだわからない。
		28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	送迎時に必ず口頭で情報共有している。最近では写真も活用を始めた。	
		29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	1	4		ペアレントトレーニングを実施できる研修を受けている者がいない。
	保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時に必ず読み上げて説明を行っている。	
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		5	0	0	相談には必ず対応し、内容によっては関係機関との連携や支援を行っている。		
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		0	2	3		感染症や希望しない保護者もいることで、現在実施をしていない。	
33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		2	2	0	規程や重要事項説明書に明記し、受け付けられる体制を整えている。		
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		5	0	0	子どもの様子だけでなく、イベントや学習テーマも配布している。		
35 個人情報に十分注意しているか		5	0	0	個人情報にあたる書類や課題など、鍵付きの棚で保管している。		
36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		5	0	0	伝え方や反応などを情報共有し、よりよいサービスになるよう心掛けている。		
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	1	4		感染症の流行や個人情報保護の観点から、実施に対して慎重に判断をしている。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	4	1		マニュアル自体は存在するが、周知が行えていない。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	3	1	年に2回以上、生徒も含めた避難訓練を実施している。	年数の浅い職員が多く、いまだに経験がない者が多い。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	研修の情報共有を行ったり、毎月職員間チェックを行っている。		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0	契約時に保護者へ必ず説明するとともに、同意書への承諾をいただいている。		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	3	2	イベント前に保護者、本人へ確認を取っている。	保護者の申告のみ。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	0	専用の報告書を用いて、職員間で情報共有を行うとともに、保管している。		